



第17-90号

2018年2月15日

小田急電鉄株式会社

株式会社白鳩の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司 以下「当社」）は、2018年2月9日開催の取締役会において、株式会社白鳩（本社：京都府京都市 社長：池上 正 以下「白鳩」）の第三者割当増資の引き受けにより、現在の保有分と合わせて40%超の議決権を保有するとともに、白鳩を当社の連結子会社化することについて決議しました。本日、白鳩において開催された取締役会においても同様の決議がなされましたので、下記のとおりお知らせします。

記

当社グループは、首都圏における鉄道事業を核に、交通、観光、流通、不動産等の事業を展開しております。人口減少・少子高齢化の進展等の事業環境変化をふまえ、沿線価値の向上と着実な事業成長を実現するため、既存事業の収益力強化に加え、新たな事業領域の創出や事業エリアの拡大を志向しております。なかでも、流通業においては、Eコマース事業の強化を重点施策の一つとして掲げております。

こうしたなか、主にインナーウェアのEコマース事業を営む白鳩は、当社と経営理念や企業風土の親和性が高く、販売チャネルや顧客基盤の相互補完が十分に期待できることから、2016年10月31日、資本業務提携契約を締結し、白鳩を当社の持分法適用関連会社としました。

資本業務提携契約の締結後、白鳩は、スマートフォンへの対応強化や決済機能の多様化、PB・コラボ商品の拡充などに加え、当社との連携による販促活動やネットとリアル間の融合施策の推進などにより国内外のEコマース事業において着実な成長を果たしています。

今般、当社は、白鳩との連携を一層強め、当社グループの重点課題であるEコマース事業の拡大を図るため、新たに白鳩の第三者割当増資を引き受けるとともに、資金調達額の過半を引き受けることで、同社を連結子会社化します。

白鳩の連結子会社化に伴い、さらなる事業拡大を図るほか、同社との人材交流を拡大し、当社人材がEコマース事業に関与することで同事業に関するノウハウの共有を進めます。また、当社が有する不動産開発に係る知見・ノウハウやネットワークを活用し、同社における倉庫・物流センターの開発を進めます。さらには、白鳩の成長戦略を早期に立案・実行することで、国内Eコマースのみならず、東アジアを中心とした越境Eコマース事業の更なる成長を実現し、2022年度の白鳩の売上高100億円の達成を目指します。

当社グループは、Eコマース事業の更なる発展に向けて、昨年7月に子会社化した株式会社ジェネリックコーポレーション、今般連結子会社化する白鳩に加え、新たなM&Aや外部パートナーとの連携も積極的に検討してまいります。

■ 株式を取得する株式会社白鳩の概要

① 名 称	株式会社白鳩		
② 所在地	京都府京都市伏見区竹田向代町 21 番地		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 池上 正		
④ 事業内容	インナーウェア専門のEコマース事業		
⑤ 資本金	527 百万円 (2017 年 8 月末現在)		
⑥ 設立年月日	1974 年 8 月 20 日		
⑦ 従業員数	156 名 (2017 年 8 月末現在)		
⑧ 最近 3 年間の経営成績			
決 算 期	2015 年 8 月期	2016 年 8 月期	2017 年 8 月期
売 上 高	4,193 百万円	4,595 百万円	5,083 百万円
営 業 利 益	160 百万円	179 百万円	202 百万円
経 常 利 益	155 百万円	160 百万円	164 百万円
当 期 純 利 益	98 百万円	102 百万円	139 百万円

■ 株式取得の内容

取得株式数	普通株式 1,700,000 株
取得後の持分比率	40.32% (議決権ベース)

■ スケジュール

取締役会決議日	: 2018年2月9日
資本業務提携契約締結日	: 2018年2月15日
第三者割当払込期日	: 2018年3月6日 (予定)

■ その他

白鳩の連結子会社化による、2018年3月期の当社決算(単体・連結)に与える影響は軽微です。

以 上